



私たちは、太陽のように「市民、誰にでも平等に陽のあたる登米市」を目指し、登米市のみらいを市民と共に考えます

◆ 令和4年 登米市議会定例会9月定期議会は散会しました ◆

令和4年登米市議会定例会9月定期議会は、9月8日（木）～10月3日（月）までの26日間の会期日程で開かれました。執行部提出議案は人事、条例の制定、各種会計補正予算、各種会計決算（認定）など41件で、議会提出案件は、発議第4号：「（仮称）登米東和バイオガス発電所建設計画」に係るFIT認定の再審査を求める意見書と発議第5号：生産資材価格高騰対策等に関する意見書の2件でした。

一般質問には19議員が登壇、市政運営全般について市長はじめ執行部にに対し、36項目にわたりその考えを質しました。会派：太陽・みらい21からは、田口政信議員、曾根充敏議員、氏家英人議員が登壇しました。

令和3年度 登米市歳入歳出決算認定については、議長と議会選出監査委員を除く24議員で構成する決算審査特別委員会を設置。正副委員長選出は、互選の結果、委員長に佐々木幸一議員、副委員長には八木しみ子議員が就任し、4日間にわたり、令和3年度登米市各種会計歳入歳出決算を審査しました。

尚、令和3年度決算に対する総括質疑は、浅田琢哉議員、佐々木好博議員、田口政信議員が行ないました。



活発な議論が展開された登米市議会議場

総括質疑 会派：太陽・みらい21からは 田口政信議員が登壇しました



■ 総括質疑 （総括質疑とは令和3年度決算全体に及ぶ質疑です）

令和3年一般会計決算は、歳入491億円、歳出479億円で市長2期目の最初の決算であり、コロナ禍の中で特別ともいえるが今後の熊谷市政の方向性を見極める決算であるとみることができる。

問 所信表明や施政方針で掲げた施策に対し、479億円の決算の満足度は。
答 7つの重点施策を軸に各種事業を展開してきた。コロナ感染症対策を最優先にワクチン接種体制の配慮や、プレミアム商品券の発行など生活支援、消費喚起に重点を置いた。病院事業は経営改善

の効果が見え、未来につながるまちづくりに向け令和3年度の取組を検証し、社会情勢の変化を的確に捉え、施策へつなげていく。一般会計の不用額11億5,906万円は「事務事業の効率的執行や経費節減による」としているが具体的な取組と額をどう捉えるか。行政改革実施計画の着実な推進と施設管理業務の集約化、複数年契約などによる行政経費の縮減の成果である。不用額の割合は2.33%と平均値水準であり、前年より0.48%増である。扶助費の変動への対応もあり、一定程度の不用額は生じる。

問 性別別決算で扶助費が17億円増加し、普通建設事業費は、14億円減少している理由は何か。
答 扶助費の増加は、コロナ関連事業の子育て世帯等臨時特別交付金、非課税世帯等臨時特別交付金事業などによる。普通建設事業費の減少は、豊里子ども園整備や防災情報伝達事業、道路改良事業などが減少したことによる。

問 人件費の推移をみると賃金項目の記述がないが2億円ほど給料や報酬に含まれていると考えていいのか。
答 令和2年度からの会計年度任用職員制度導入により、従来の非常勤職員、臨時職員及びパート職員を会計年度任用制度に移行し、基本給を報酬又は給料として支給している。

問 人件費の比率をどう捉えているのか。
答 人件費の構成比は15.98%であり、県内平均13.2%（令和2年）より若干高水準にある。消防や火葬場、ごみ処理などを単独で担っているためである。

■ 病院事業について

問 当年度の資金収支が7億9,348万円黒字となり、資金剰余額が5,081万円となった。資金不足が解消した大きな理由は。
答 経営改善の取り組みとして実施した病床数のダウンサイジングや市立3病院における病床の機能分担、連携強化、診療報酬における施設基準・加算の取得により医業収益が増加したほか、不採算地区病院への交付税拡充、コロナ感染症補助金の増加による。

問 令和3年度決算の状況を今後も継続できるのか。
答 感染症対応している回復期リハビリテーション病床の再開など、平常時診療体制とすることで、患者数の確保を図り、市立3病院の機能分担や連携強化、診療報酬における施設基準・加算の取得を進め、単年度資金収支の黒字化を継続していく。

議会提出案件 意見書を提出しました

「（仮称）登米東和町バイオガス発電所建設計画」に係るFIT認定の再審査を求める意見書

事業者は登米市開発指導要綱に基づき、登米市との開発協議を進めているが、地域住民は事故等によって豊かな自然環境が壊されるのではないかと強い不安を抱えたままの生活を余儀なくされている。よって、本発電所建設計画におけるFIT認定の再審査を求める。

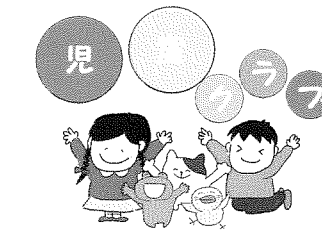
以上、地方自治法内99条の規定により意見書を提出する。

令和4年10月 西村 康稔 あて 宮城県登米市議会議員 関 孝

令和4年度 登米市一般会計補正予算で決まった主な事業

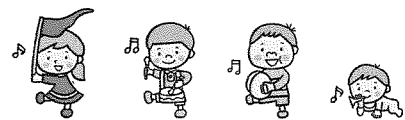
■ 新規 放課後児童クラブ開設支援事業

今回補正額計：1,200万円（施設改修費：900万円、備品購入費：300万円）
【財源内訳】 国庫支出金400万円、県支出金400万円、一般財源400万円



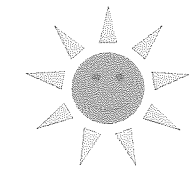
- ▶ 事業目的 保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学校の児童に対し、適切な遊び及び生活の場の提供を行い、待機児童の解消を図るため、放課後児童クラブの開設を支援するもの。
- ▶ 事業概要 令和5年度からの事業実施に向け、待機が生じている佐沼小、南方小、東郷小の児童の受け皿となる放課後児童クラブの開設を行う事業実施者に対し、補助金を交付するもの。

- 事業実施者：特定非営利法人 びいすかんにい（所在地：登米市迫町佐沼字内町）
- 開設場所：登米市南方町上ヶ戸地内（空き家をリノベーションして活用）
- 利用定員：35名（令和5年度登録見込人数25名）
- 児童の送迎：事業実施者の送迎車両で利用児童を小学校から実施施設まで送迎する



■ 事業復活支援給付金事業 今回補正額計：2億8,667万円

- ▶ 事業目的 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が大きく減少した市内事業者に対し、売り上げの減少に応じた給付金を支給し、事業の継続及び回復を支援するもの
- ▶ 事業概要 (1) 事業内容：国の事業復活支援金（以下「国支援金」という）を受給した市内事業者に対し、国支援金の売上減少の区分に応じて本市が独自に事業復活支援給付金（以下「市支援金」という）として一律の額を上乗せして支給する
(2) 次のすべてに該当する者とする



- ① 国支援金の受給を受けた市内中小企業又は個人事業主で、令和3年10月31日までの創業又は開業し、かつ、今後も事業継続する意志のある者
- ② 令和3年11月から令和4年3月までのいずれかの月の売上金額が、平成30年11月から令和3年3月の間の任意の月と比較して30%以上減少している者

事業費の内訳（給付金）

市給付金	売上減少率	支給額 (1事業者あたり)	6月補正	9月補正	総件数 総支給額
			件数 支給額	件数 支給額	
60%以上	個人事業主 一律 250千円	250千円	240件 60,000千円	368件 92,000千円	608件 152,000千円
			45件 11,250千円	322件 80,500千円	367件 91,750千円
	中小企業 一律 500千円	500千円	22,500千円	161,000千円	183,500千円
			80件 40,000千円	54件 27,000千円	134件 67,000千円
30%以上 50%未満	個人事業主 一律 150千円	150千円	12,000千円	8,100千円	20,100千円
			35件 5,250千円	85件 12,750千円	120件 18,000千円
	中小企業 一律 300千円	300千円	10,500千円	25,500千円	36,000千円
			400件 120,000千円	829件 256,600千円	1,229件 391,600千円
合計			105,000千円	256,600千円	391,600千円

- ◆ その他の事業等
 - ・私立保育所等給食材料費原価価格・物価高騰対策事業
 - ・公立保育所等給食材料費原価価格・物価高騰対策事業
 - ・水田農業肥料高騰対策支援事業など

会派活動：植樹祭に今年も参加しました 令和4年5月22日（日）午前10時から正午まで 登米市津山町横山字黄牛深畑地内（登米市有林）



開会式のようす



クワで穴を掘って



未来の故郷のために



コナラの苗



急斜面もなんのその

■ 令和4年度「市民参加の新たな森林づくり・春」植樹祭

森林は、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止するなど地球環境にとって大切な資源です。この大切な森林を次世代へ残すため、登米市では「市民参加の森林づくり」を推進しています。会派：太陽・みらい21は、毎年参加しています。

当日は小雨模様の天候でしたが、横山小学校みどりの少年団の子供達と保護者、一般市民など約150名の参加でした。

今回植樹したのは落葉樹のコナラの苗木で、約800本を0.4haへ皆で植樹しました。一人ひとりがクワを片手に穴を掘り、急斜面を上り下りしながら悪戦苦闘…（汗）。10年後、20年後にどのように成長しているのか楽しみです。



議員会派 太陽・みらい21のメンバーで



当日参加した市議会議員

主催：宮城県、登米市
後援：登米市緑化推進委員会、宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部、津山町森林組合、登米町森林組合、東和町森林組合、米川生産森林組合



うじえひでと
氏家 英人 の一般質問



一般質問
氏家 英人

1) 迫定住促進住宅に住まいする住民不安について

問 令和4年3月16日23:36分頃、福島県沖を震源とする震度6強の強い揺れにより、迫定住促進住宅（1号棟）に傾きが生じた。倒壊の恐れはないものの、人が住み続けるには健康上難しいとの専門家からの調査結果が示された。そのため、現在住まいしている住民（15世帯）は令和5年3月31日までに転居せざるを得なくなっている。本市としても住民説明会や個別相談、面談などを開催し、引っ越しや補償についても対応はしているものの、住民の中からは不安や不満の声も漏れ聞こえてくる。住民転居は順調に進んでいるのか。また、問題・課題はないのかを問う。

答 迫定住促進住宅は、令和4年3月福島県沖地震により、1号棟が北西方向に最大24cm程度沈下し、傾斜としては、約0.7度、1mにつき13mm程度傾いていることが確認された。国交省で定める品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅紛争処理の参考となるべき技術的基準では、貸主としての瑕疵となる可能性が高いと判断されること、今後、同規模の地震が発生すれば、建物が更に沈下し、傾きが大きくなることも危惧されることから、賃貸住宅として居住させるべき物件ではないと判断した。

このことから、迫定住促進住宅1号棟に入居している16世帯を対象に、本年4月15日には建物の傾きの状況を、6月2日には転居に要する費用負担や転居先について説明し、6月30日までに希望する転居先を取りまとめたところである。また、転居に際しては、それぞれの世帯状況が異なることから、7月からは個別面談を実施し、転居時期などの詳細について聴き取りを行い、令和5年3月31日までに転居いただくようお願いしている。

今回の転居は地震災害によるもので、市及び入居者双方が予め転居となったが、出来る限りの対応を検討し、説明を行ってきた。しかし、一部の方々には、市からの移転補償額や転居に際してのゴミの処理問題等で、ご理解をいただけていない状況である。

問 引っ越しの際に必ず出る不要になった家具、家電をどうするかが入居者の一番の不安な点である。災害ゴミと認定すべきでは。

答 ゴミの関係だが、まずはゴミ袋、燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、これらを支給すること。また、不要になる大型の家具類をどうするか、部内でも検討に検討を重ねてきた。今現在、不要になった家具類などについては、全部中身を空にしていた状態、その場に置いたまま転居していただいたほうが良いのではという考えで今、検討をしているところである。

問 まだ引っ越しをしていない世帯を対象に、もう一度全体説明会を開くべきではないか。

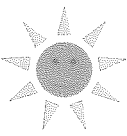
答 再度の全体説明会の開催は今のところ考えてはいるが、住民からの「声」があれば今後検討し、より住民に寄り添って丁寧な説明を継続し続けてまいりたい。



傾きが生じた迫定住促進住宅。転居を余儀なくした住民不安に対応を



「おおせ橋」から迫川方面を見る。長沼川放水路が完成すれば、佐沼西地区の内水被害は大幅に軽減される



1) 迫定住促進住宅に住まいする住民不安について
2) 県による長沼川改修事業等について

1) 迫定住促進住宅に住まいする住民不安について

たぐちまさのぶ
田口 政信 の一般質問



一般質問
田口 政信

1) 公会計の取組について
2) アフターコロナの対策について

1) 公会計の取組について

問 公会計制度は、全国の自治体で取り組まれている。施政方針では、公会計制度による財務書類の活用に向け、本制度と財務会計システムや固定資産台帳の情報が連携するシステムを構築するとしているが、現在の進捗状況は。

答 財務会計システムの更新に合わせ、固定資産管理を含めた公会計制度に対応したシステムとして本年度から導入している。

問 専門的な部署を設置し、専任的な人材の登用や先進地視察研修などを重ね、実効性を高めるべきではないか。

答 外部機関からの人材登用は考えていないが公会計制度推進を図るため、総務部財政経営課に新たに財政調整係を設置し、専任職員を2名配置しており、先進地視察研修（埼玉県和光市、福島県郡山市）や市町村アカデミーの専門実務研修を受講している。また、全国の自治体職員とのネットワーク形成を図っている。

問 市には公共施設総合管理計画があり、現在施設の25%削減を目標値に掲げ、各部署が機能変更や除却を視野に入れ、年次計画で実行していく状況にあるが、公会計制度の連動をどのようにしていくのか。

答 施設や事業でのフルコストの費用を可視化し、公会計での数値を利用し施設のマネージメントを図っていく。また、個別施設ごとの資産老朽化比率も算出できることから、施設の除却、長寿命化も含めて優先順位をつけ老朽化対策に取り組むこともできる。

2) アフターコロナについて

問 市長は、コロナウイルスをこれまでのスペイン風邪や天然痘などの感染症と比べてどんなウイルスと捉えているのか。

答 自分自身も感染したが、行動履歴を検証しても原因を確定することはできず、同一行動した人も感染しない状況であった。ただし、隔離生活をしていながらもかかわらず、家族には一気に感染しており感染力の強さは実感した。症状は軽い風邪程度であった。

問 市民協働で支えられてきた各種イベントや祭りなどを再構築する必要性と支援や援助の考え方を聞く。

答 コミュニティ組織のイベントは「頑張る地域づくり交付金」の支援や個別相談を含めて支援していく。観光イベントについては、実行委員会と連携し、広報活動等の支援をしていく。

問 市を代表するイベント、産業フェスティバル、はっとフェスティバル、とよま秋まつり、長沼花火、牛祭りは3年間も開催を中止してきた。どう再構築し開催に向けどう取組むのか。

答 事務局や事務方に頑張っていただくことが大事であり、伝統文化や地域行事を継承する体制づくりが必要である。



そねみつとし

曾根 充敏 の一般質問

公共交通の在り方は



一般質問
曾根 充敏

公共交通のあり方は

問 市民バス、住民バスおよびデマンド型乗り合いタクシーによって地域公共交通政策に取り組んでいるが、未だ市民生活に根差したものに育っていない。これからのまちづくりにおいて本市では公共交通をどのような役割に据えるのか、その在り方を問う。

答 本市の公共交通は、ネットワークの充実を図ることにより人口減少や高齢化社会の中にあっても市全体が持続的に発展するまちづくりに繋げていく重要な役割を担うものと認識している。

問 総合計画では、「中心市街地と各生活圏を効率的な交通網で結び住環境を向上させることが必要」としている。市民バスは令和7年度利用目標を37万6千人としているが具体的に取組んでいるのか。

答 令和3年度実績は25万2千人まで落ちている。まずはコロナ禍前の実績に戻したい。乗り継ぎや他交通とのアクセス調整などを行っているし、広報などでお知らせを通し、利用が増えるよう取り組んでいる。

問 コロナ禍で落ち込んだのは理解するが、今のペースで目標に到達できるのか。

問 大きくかけ離れているが少しでも近づきたい。

問 デマンド型乗り合いタクシーは「ドアツードアの便利な交通手段」とのことであるが、公のお金を繰出していることから多少の不便は犠牲にしても公共性を保たなくてはならない。実際に乗合は図られているのか。

答 実績としては一人利用が多い。同じ方向に行く利用者をどうまとめるか課題だ。

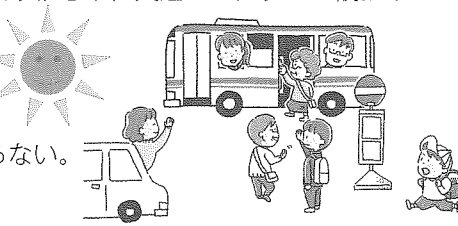


問 公共交通を「欠かすことが出来ない移動手段」と位置付けているが、施策展開に言葉ほどのリアリティがない。例えば公共交通が無くなった時に、困ることがあるか。

答 車が運転できればすぐに困ることはない。

問 「車で通勤できるから困らない」という発想が本市公共交通施策の一番のネックである。公金を入れ100円で乗れるのだから、「市内移動は出来ればバス」を使ってもらうようにしなくてはならない。市役所は比較的標準的な勤務体系だ。この時間帯にもダイヤを組めば一般の利用も増えると思う。高校生や高齢者需要だけをターゲットにしたダイヤでは、

到底需要は伸びないし施策も成り立たない。市内を移動する方が第一義的に公共交通を使う仕組みをつくらないと、これからの本市を担う事業にはならないのではないか。 答 運行本数がどれくらいに出来るかなど、データ等も調査しながら検討したい。



優勝おめでとう！ 仙台育英学園硬式野球部が来市！ 令和4年9月5日



第104回 全国高等学校野球選手権大会において、悲願の東北勢初優勝を成し遂げた仙台育英学園硬式野球部の皆さまが表敬訪問ということで市役所迫庁舎へお出で下さいました。登米市には仙台育英学園東と蛸雪校舎（旧鱒淵小学校）があり、今年7月の開校式には熊谷盛廣市長が出席されたという縁もあるのです。登米市からは栄光の盾と地元産ひとめぼれの新米300^{kg}が贈られました。また、地元出身の尾形選手と高橋選手が「これからも地元のために頑張っていきたい」とあいさつしました。



地元出身バッテリーを記念撮影

会場は市役所迫庁舎2階大会議室

遂に真紅の大優勝旗が白河の関を越えました。大きな感動をありがとうございました！

登米市議会議員会派：太陽・みらい21 **メンバー紹介**

代 表：氏家 英人（4期 佐 沼） 及川 昌憲（5期 南方町）
 会計責任者：曾根 充敏（2期 石越町） 田口 政信（5期 南方町）